

GIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末整備 キットイングについて

iPadOS端末の場合

ID、端末、アプリ等を一元管理出来るコンソール（Apple School Manager）とモバイルデバイス管理（MDM）を使えば、ワイヤレスで授業で使うアプリケーションや資料などを配布したり、ホーム画面のレイアウトを構成したりできます。iPadのキットイングは学校配布後にMDMにて計画的にインターネット回線を用いてアプリ等をインストールすることもできます。

Step1: 事前設定

Step2: キットイング

Step3: 配布

事前設定（事業者 or 教育委員会）

- Apple School Manager登録
- Apple School Manager設定
 - 端末設定用ID(Apple ID)を作成※
 - (共用の場合) デバイスID
 - (1人1台の場合) 利用者ID
 - アプリケーション購入
 - 各ユーザーアカウントの構成
- MDM設定
 - 自動デバイス登録オプションの構成
 - ネットワーク設定
 - 機能制限
 - アプリケーション配信設定
 - ホーム画面のレイアウトの構成など

Apple School Manager登録

IDの作成

ネットワークの設定

iPad本体のキットイング（事業者 or 学校）

- インターネット接続により、MDMでの事前設定内容の端末への反映
- 端末へAppの一括インストール。Appカタログから任意のタイミングでもインストール可
- (共用の場合) 端末固有のデバイスIDでサインイン

MDMへの端末登録

アプリケーションのインストール

端末へのID登録(共用の場合)

- (1人1台の場合) 教員・児童生徒に端末とともにID/初期パスワードを配布し、一度だけ利用者ID（教員・生徒ID）でサインイン

端末へのID登録(1人1台の場合)

その他のキットイング（事業者 or 学校）

- ケース/キーボード装着
- 管理シール貼付

- 出荷から納品までの間にOS更新があった場合、運用開始後に更新を実施

OSの更新

※IDの管理方法は運用方針によって異なります

参考) Appleと教育 - ITと導入 <https://www.apple.com/jp/education/k12/it/>

教育用導入ガイド

<https://help.apple.com/deployment/education/?lang=ja#/>